

# 岩室ネットワーク

皆さんからの情報を募集しています。  
地区内行事、ボランティア活動など何でもOK!  
企画調整課 ☎82-5728 までご連絡ください。

こんなこと...

## 岩室小学校PTAが 動物愛護功労者 表彰を受賞!!

9月23日、巻総合庁舎駐車場で行われた第19回県央地区動物フェスティバルにおいて、岩室小学校PTAの皆さんが、新潟県動物愛護協会巻支部から動物愛護功労者表彰を受賞しました。  
これは動物をいたわり、接していく中で、子どもたちが優しい心を育ててほしいという気持ちから、ウサギの飼育小屋の増改築などを実施し、そのことが学校飼育動物の飼育環境改善に努め、児童への動物愛護精神の普及啓発に功績があったと認められたものです。



▲岩室小PTAの皆さん

## ●和納保育園 5歳児

〈作品名〉“おしゃれなみのむしさん”



【後列左から】  
たかなみくんべいくん、たかはしかずたかくん、かきじま ゆたかくん  
【前列左から】  
さとうけんくん、よしかわちひろちゃん、たけうちみおちゃん、つかだまゆかちゃん

## ぼく★わたしの 自信作



▶稲刈りを終え息つく談志師匠

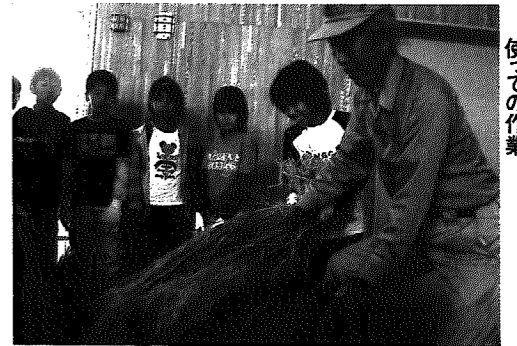


## 談志師匠、今年も稲刈りで大ハッスル!!

～食欲の秋!「談志の田んぼ収穫祭」より～

毎年恒例となっている「談志の田んぼ収穫祭」が今年も9月28日、夏井地区の田んぼで行われました。当日は朝からあいにくの曇り空で、いつ雨が降ってもおかしくない天気。そんな中、バスから降り立った談志師匠はいつもの毒舌を披露し、集まった多くの観客を笑いの渦に巻き込んでいました。その後、蓑かさをかぶり、慣れた手つきで稲刈りを開始。最初は、元気に勢いよく刈っていた師匠も、最後の稲を刈り終わるとさすがにスタミナがきれたのか、田んぼに横たわりパタンキュー状態になっていました。また、刈り取られた稲は師匠らによって、次々とハザ木に掛けられました。

▶人力足踏み駆動式「千歯こぎ」を使っている作業



## 和納小5年生が『千歯こぎ』で脱穀に挑戦!!

～昔の農作業を通して先人の知恵を学ぶ!～

9月29日、和納小5年生が同校体育館において、昔の農機具を使った脱穀作業を体験しました。これは稲作体験学習の一環として、昔の人たちは農作業でどんな苦労をしていたのか、どんな道具を使い、どんな工夫をしていたのかを勉強するものです。当日は、千歯こぎや唐箕など、昔ながらの農機具を歴史民族資料館から借用し、その解説及び実技指導には、村文化財保護審議委員の齋藤嘉吉さんと老人クラブの田中芳男さん、坂下潔さんを向かえ準備OK。テレビ局も取材に訪れる中、児童たちは早速作業を開始し、稲からもみを取り、殻をはがした後、玄米ともみがらに分ける作業に熱中していました。

▶優勝した岩室ビッグハーツの選手たち



## 岩室ビッグハーツ(岩小・和小合同チーム)が優勝!

～第1回嵐南ミニバス交流大会「RANNANCUP」～

9月27日、三条市総合体育館で三条市をはじめ新潟市、長岡市などのチームで争われる第1回嵐南ミニバス交流大会が開催されました。岩室ビッグハーツは、初戦のおおばSC(長岡市)を43対21、準決勝の上組こだまキッズ(長岡市)を38対12と大差で撃破。決勝戦は同じく初戦、準決勝と圧勝で勝ち上がってきた今町小学校(見附市)と対戦。前半を終え、5点のリードを許したものの、後半地力を発揮し、46対44のわずか1ゴール差の接戦を制しました。今後は、3月に開催されるミニバスの全国大会出場を目標に練習を励むことになります。

▶せつせとゴミを拾う参加者の皆さん



## 和納地区たばこ販売店がクリーン作戦

～マナー呼びかけ、改善センター周辺を清掃～

先月11日、和納地区たばこ販売店の皆さんによって、農村環境改善センター周辺のクリーン作戦が実施されました。

参加者は喫煙マナーの向上と環境美化活動を目的として、「スモーキン・クリーン」の文字の入った、おそろいの緑のエプロンとサンバイザーを身につけ作戦を開始。

秋晴れのもと、ゴミ袋を片手に投げ捨てられた空き缶など大量のゴミを拾い、すがすがしい汗を流していました。なお、平成14年度の村たばこ税は4,800万円ほどで村の貴重な財源となっています。

## 心に響く音色で 秋の夜長を満喫

◎マリンバ(木野の響)と  
ピアノの素敵なアンサンブル

今年で21回目となる音楽会「音楽に親しむタベ」が、先月25日公民館講堂で約250名の観客を集めて開催されました。

第1部では、まずコーラス泉の皆さんが8曲の合唱を披露し、美しいハーモニイで観客を魅了した後、遠藤吉比古先生によるピアノ独奏が行われました。今年の特テーマは「響八短調の世界」。音楽の専門的なお話を観客にわかりやすく説明しながら代表的な3曲を披露すると、会場内はピアノが創り出す官能の世界に包まれました。

また、第2部では、マリンバ奏者の本間美恵子先生(埼玉県在住)が遠藤先生のピアノをバックに計8曲を演奏。2本のマリンバと呼ばれるパチ(時には4本)を自由巧みに操り、時には優しく軽快に、時には優しく優雅にリズムを刻みます。体全身を使って演奏するさまは、まるで華麗にダンスを舞い踊っているよう。訪れた観客は打楽器特有の心に響く音色に、時の経過を忘れて酔いしれていました。その後、岩室混声合唱団の皆さんが「アムール河の波」を熱唱。

最後に「夜明けの歌」を会場全員で歌い、音楽会は盛大に幕を閉じました。



▲激しいマリンバの動きで、時には腕を痛めることもあるとか



▲岩室混声合唱団の皆さん

広報いわむろにあなたが写っていましたら、  
企画調整課へご連絡をください!写真を差しあげます!!